

# のこさずたべよう

～ストップおんだんかのために～

<b>校種・学年</b>	小学校・第1学年	<b>教科等</b>	学級活動（2）
<b>時間・学期(月)</b>	1時間・後期（12月）	<b>副読本</b>	P7「地球はもっと暖かくなる!？」
<b>準備等</b>	児童アンケート・映像資料（栄養士へのインタビュー）・写真資料		

## 1 ねらい

- ・ たくさんの人たちが自分たちの給食に関わっていることに気付き、感謝の気持ちをもって残さず給食を食べようとする態度を育てる。
- ・ 自分の給食の食べ方を振り返り、残さず食べるための自分のめあてをもつ。
- ・ 残さず食べることが、温暖化対策につながることに気付く。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- 様々な情報を活用し、自らの課題に気付く力
- 自分の考えを相手に伝える力
- 自分で考えためあてに向かい、努力する力

## 3 指導計画(全10時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○ 地球規模の課題（温暖化）に触れるとともに、自分たちの食生活がその課題の要因の1つになっていることを知る。 ○ 課題（温暖化）解決に向けて、給食や家の食事を振り返り、めあてを考える。

## 4 本時の学習指導(本時 1/10)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○ 写真資料と出会い、地球規模の課題に触れる。	○ とけ出す氷河の写真
5	○ 給食アンケートや残菜の写真を見て、自分たちの給食の実態を知る。	★ P7「地球はもっと暖かくなる!？」
20	○ 学習課題を知る。 のこさずたべよう。 ○ たくさんの人たちが自分たちの給食に関わっていることに気付く。	○ 栄養士へのインタビューを聞かせる。
15	○ 自分の給食の食べ方を振り返り、残さず食べるための自分のめあてをもつ。	○ 自分に合っためあてを考えさせる。

## 5 他教科等とのつながり

- 1年生国語科「はたらくじどう車」

## 6 社会とのつながり

- 栄養士へのインタビュー
- 家庭の人たちとの対話

**7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）**

- 地球規模の課題（温暖化）の様子を、写真等を通して的確に伝えることで、子供たちにより身近な出来事としてとらえさせる。
- 給食アンケートや残菜の写真で実態をしっかりと示すことで、より自分たちのこととしての問題意識をもつことができる。
- 自分で決めためあてを継続的に自己評価させ、実践意欲を高める。

**8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など**

- 自分たちのことを考えてたくさんの人たちが給食に関わってくれていることに気付いた。
- 残さず食べることで、作ってくれた人たちへの感謝の気持ちを表そうと思う。
- 自分の毎日の給食での様子を見つめるとともに、給食に関わる人たちへの感謝の気持ちを【のこさず食べる】と言うことで表そうとしている。
- 自分のめあてを自分の毎日の給食の様子を振り返りながら決めることができていた。

**9 研究協議の内容**

- より真実感のある学習活動の工夫（ゲストティーチャーの活用・ビデオの活用など）
- 食への関心の高まりを継続して高めていくための工夫（めあてカード、全校での取組など）